

別紙1

厚生大臣
齋藤十朗 殿

1987年3月10日

浄土宗 祐天寺
東京都目黒区中目黒5-24-53
[redacted]

朝鮮籍戦没者遺骨について

昭和46年、朝鮮籍戦没者遺骨を御庁より預託の御依頼を受けお預かり致しており、その間、数時に亘る返還がなされ、現在1140柱の御遺骨が今なお安置されております。当寺に於いては、毎朝供養をさかさずお預かり致しておりますが、昭和59年以来、身元が判明せず、このままの状態では身元判明の可能性は乏しく永久に故國の土に返ることが出来ないのではないかと憂慮する次第です。

幸い韓民族の民族寺院が京都市兩山城の地に創建され境内地に韓民族殉難者慰霊日韓友好平和の塔が建立され、その場に前骨堂が設けられた事は喜びに堪えません。

この機会に当寺に保管せる御遺骨1140柱を御庁にお引き取り戴き、改めて御庁より韓民族の塔に預託される事を希望致します。

韓民族の方々の御遺骨を身元不明のままお預かりしているのは何としても不自然であり、人道上也にも当寺での保管はこれ以上許されるべきではないと確信されるものがあります。心ある有識者の方々の御意見もあり、御返還致しますので、何卒お引き取りをお願い申し上げます。

浄土宗
祐天寺 [redacted]